

# Northerner

総会員数 7,283名(2023.7.31現在)



## Contents

第74回 北海道理学療法士学術大会のお知らせ  
令和5・6年度 役員就任のお知らせ

### 会長就任挨拶

受賞報告

### INTERVIEW

理学療法士の職域拡大に向けた新たな分野の紹介シリーズ【第9弾】

高校部活動のトレーナーとして

活躍しているセラピスト

第4回北海道PTバラスポーツWebミーティング  
事務局からのお知らせ

求人募集広告申込要項

### 2023理学療法週間事業報告

5分でわかる理学療法士に知ってほしいNEWS

賛助会員・協賛企業一覧

Instagramはじめました／原稿締切

# 第74回 北海道理学療法士学会 多様性をつなぐ

会 期 2023年11月11日(土)・12日(日)  
会 場 北海道文教大学(恵庭市)  
開催形式 ハイブリッド開催(現地、Live配信、オンデマンド配信)  
大会長 表 亮介(市立札幌病院リハビリテーション科)  
副大会長 塩原 貴之(イムス札幌内科リハビリテーション病院)  
準備委員長 小島 伸枝(時計台記念病院)



大会  
事務局

北海道理学療法士会札幌支部  
E-mail:74gakkai@pt-hokkaido.jp  
URL:https://www.pt-hokkaido.jp/congress/

## 大会内容

### ■基調講演

「日本理学療法学会連合法人化の歩みと  
未来への射程」

藤澤 宏幸 先生

東北文化学園大学理事  
日本理学療法学会連合理事長  
日本基礎理学療法学会理事

### ■特別企画

1.超音波と理学療法に関する講演

谷口 圭吾 先生

札幌医科大学保健医療学部  
理学療法学科教授

2.超音波ハンズオンセミナー

### ■特別講演

「費用対効果の視点とリハビリテーション」

森井 康博 先生

国立保健医療科学院  
保健医療経済評価研究センター

### ■札幌支部特別企画シンポジウム

「札幌市における介護予防事業について」

### ■つなぐシンポジウム

～未来に繋ぐべきこと～ 各分野の講師より

### ■一般演題(口述・ポスター)

### ■自主企画セミナー

## 令和5・6年度役員就任のお知らせ

任期満了に伴う役員選挙が行われた結果、全道区理事は上位16名、地区理事10名、監事3名について、以下のとおり、信任され、就任いたしましたので、ご報告いたします。

会長 柿澤 雅史

### ■令和5・6年度役員一覧

役職	氏名	所属
会長	柿澤 雅史	札幌医科大学附属病院
副会長	杉原 俊一	札幌秀友会病院
副会長	高橋 尚明	北海道医療大学
理事・事務局長	小林 巧	北海道千歳リハビリテーション大学
理事・学術局長	橋田 浩	北海道文教大学
理事・教育局長(兼任)	高橋 尚明	北海道医療大学
理事・社会局長(兼任)	杉原 俊一	札幌秀友会病院
理事・職能局長	千葉 恒	介護老人保健施設ふらの
理事・健康スポーツ局長(新任)	佐藤 義文	札幌溪仁会リハビリテーション病院
理事・支部事業局長	阿部 隆宏	北海道大学病院
理事	青山 誠	医療法人 溪仁会 法人本部
理事	筋内 一浩	北星記念病院
理事	加藤 良和	手稲溪仁会病院
理事	森山 武	市立函館病院
理事(新任)	安部 陽子	札幌白石記念病院
理事(新任)	仲澤 一也	Do-Clinic 整形・運動器リハビリテーション

役職	氏名	所属
理事(新任)	小島 伸枝	時計台記念病院
理事(新任)	大野 大地	フィールドクルーズ
理事・道南支部長	吉田 俊教	函館整形外科クリニック
理事・日胆支部長	石川 修一	苫小牧日翔病院
理事・札幌支部長	表 亮介	市立札幌病院
理事・石狩支部長	青山 花奈恵	ライフ・オステオパシー・センター
理事・後志支部長	平塚 涉	済生会小樽病院
理事・空知支部長	鈴木 智博	介護サービスセンターこうよう
理事・道北支部長	齊藤 浩平	森山メモリアル病院指定訪問 リハビリテーション事業所東出張所
理事・十勝支部長	小岩 幹	北斗病院
理事・釧根支部長	宿野部 晃一	釧路北病院
理事・道東支部長	大森 達也	(株)PHYSIT
監事	小神 博	ツクイ札幌屯田
監事(新任)	森 茂樹	常広病院
監事(外部)	千葉 卓	自宅

# 会長就任挨拶

## 北海道理学療法士会 会員の皆様へ

公益社団法人 北海道理学療法士会

会長 柿澤 雅史



この度、会長に就任いたしました柿澤雅史(かきざわ まさふみ)です。前期同様、2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。6月17日に定時総会が開催され、その後の理事会において、青山 誠 理事が会長に選任されましたが、その後、諸般の事情により、自ら辞任を表明され、7月24日の臨時理事会で私が再度、務めさせていただくことになりました。この間、総会での「令和5・6年度役員を選任を求める件」に対し、代議員から多くの異議申し立てをいただきました。内容は、選挙違反者を匿名とし、理事候補当選者の中にいるかを明らかにせず、選任が行われたこと、また、当日は欠席し、事前に議決権行使した者には、選挙違反の説明もないまま、選任せざるをえなかったことへのご指摘でありました。これに対し、会長交代後、臨時理事会において、早期に再度、総会を開催し、選挙違反者を開示し、その経緯を説明した上、役員を選任の有効性を問うことが決議されました。このことを受け、8月26日(土)に臨時総会をWebで開催いたしました。オンライン等による当日出席57名、事前の議決権行使による出席40名の計97名の代議員に参加いただき、異議申し立てに対する説明および定時総会での役員選任決議の有効性の承認をお諮りしました。議長を除く54名の賛成、42名の反対の票をいただき、結果として定時総会での役員全員の承認をいただきましたが、多くの反対票があったことを真摯に受け止め、今後、理事会では選挙に係る規程の見直しや選挙管理委員会による選挙要綱の検討等、選挙違反に関して厳しく対応してまいります。臨時総会を招集しなければならぬ事態になりましたこと、皆様へのご報告が遅くなりましたことを心よりお詫び申し上げます。

さて、前期は、コロナ禍においても、いかに士会運営を止めることなく、各事業を進めていくかと向き合った2年間でした。学術・教育局事業は、オンライン開催、社会局事業は当初、多くが中止となりましたが感染状況を見ながら、徐々に再開したり、集わなくても可能な、新たな啓発方法を模索してきました。職能局、健康スポーツ局事業は会員への情報提供に係るものはオンライン、メディカルサポートのように派遣が前提の事業は感染予防に最大限努めて参加し、支部事業局では各支部、地域の感染状況に合わせ、各事業を実施しました。現在も新型コロナウイルス感染症は、決して消退したわけではありませんが、感染症法上の5類になったことで制約がなくなり、集団の中でもマスクをはずしている人は非常に増えています。コロナ禍以前のように対面、集合型の事業もほぼ制限なく実施できますが、この3年半で培った運営方法を有効に活用し、より多くの会員が参加できる活動を提供できるよう努めてまいります。

理学療法士の活動の場は、地域包括ケアシステムにおける介護予防事業、地域ケア会議、学校保健や部活動のサポート、スポーツ現場でのメディカルサポート、企業における腰痛対策、被災地でのリハビリテーション支援等々、広がりを見せています。これらが、新たな職域として確立するためには、安定した委託・受託の仕組みが必要です。依頼があった時に速やかな派遣を可能にするには、地域における日頃からの連携が重要になります。管理者ネットワークがこのような時に機能するよう、引き続き、構築・活用を進めていきます。また、提供されるサービスは、期待されるに値する質が求められ、これらの活動に対し、適切な提供ができるよう研修の機会を検討していきます。

2025年を目前に控え、地域包括ケアシステムの確立は喫緊の課題です。他職種と協働して、そこに向かうためにも、北海道リハビリテーション専門職協会(HARP)は窓口としての機能を果たし、私たちは理学療法士に求められている専門性を適切に発揮していけるよう、それぞれに必要な事業を展開していきます。

昨年から開始された新たな生涯学習システムは、士会承認症例検討会や研修会等、承認申請も増え、新人教育や登録理学療法士更新の準備が各施設で進められていることが分かります。ただ、このシステムにおいて重要な役割を果たす登録理学療法士が1人もいない施設や少数しかいない施設もあり、広く地域でも学習を進め、登録理学療法士を増やしていくことが重要です。学術局、教育局を中心に生涯学習の管理、多くの学びの機会を提供し、サポートしていきます。

理学療法士の処遇改善や職域の維持、拡大のためには、私たちの政策を各所に伝えていくことが必要です。そのためにも、引き続き、北海道理学療法士連盟と連携し、会員の皆様に政治との関わりについて、理解いただく機会を検討していきます。

今回、長きに亘り、理事、監事としてお勤めいただいた方々の一部が退任し、6名の新役員が就任しています。新たなメンバーも加わり、積極的に各種事業に取り組んでまいりますので、会員の皆様の一層のご理解、ご協力をお願いいたします。



# 創立 55 周年記念

## 北海道知事感謝状 受賞者

山田 久美子

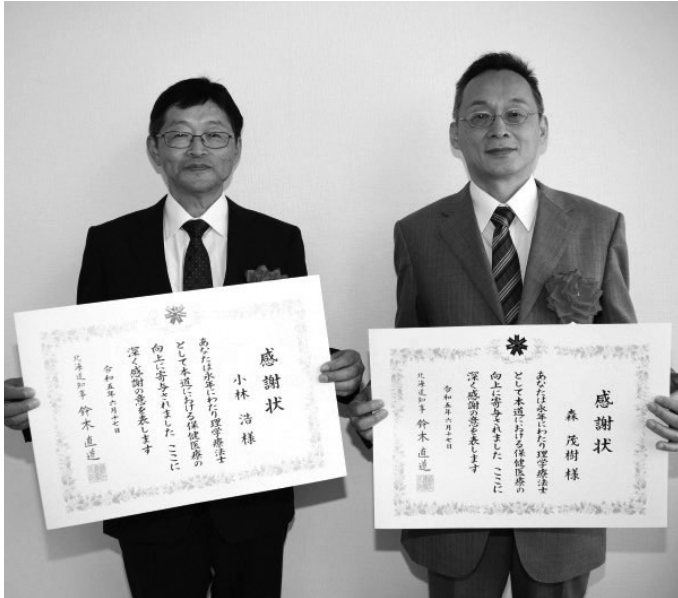
今整形外科

小林 浩

森山病院予防医学センター・  
スポーツ医学センター

森 茂樹

帯広病院



### 北海道知事感謝状を受賞して

森山病院予防医学センター・スポーツ医学センター 小林 浩

この度は記念すべき北海道理学療法士会創立55周年記念において、知事感謝状を賜りありがとうございました。

振り返れば理学療法をこの北海道で学び、その後本州で救命救急や訪問看護のリハを経験させていただきました。

対象者は、入院中の方だけではなく退院直後の方、在宅療養の方、また地域で暮らす住民の方々に、いかに自分らしく生活していくこと、健康支援をしていくために何を地域で支援していく必要があるのかを考え続け、発信してきたように感じます。大切にしていた取り組みのキーワードは常に「生活」であったかと思えます。

在宅支援や介護予防事業等はまだまだ従事するリハ専門職も少なく、理解が及ばない状況もありますが、今後は職能団体の多くの仲間と更なる取り組みと後輩育成にも力を入れて北海道の発展に微力ながらも貢献していきたいと思っています。

## 北海道理学療法士会長感謝状

松坂 辰哉

明生園

矢部 晃子

新ひだか町立  
静内病院

塩野谷 千恵子

小樽老人保健施設  
はまなす



### 北海道理学療法士会長感謝状を受賞して

明生園 松坂 辰哉

この度、北海道理学療法士会創立55周年記念表彰・贈呈式において、北海道理学療法士会長感謝状を賜りましたこと、この場をお借りしてご報告申し上げます。

今年で38年目になりますが、1年目は函館市内の会員数は10名を下回っていたと記憶しております。現在の函館市内の会員数は400名、道南支部全体では500名を超えております。この間に、道南支部長、学術大会の役員等を経験させていただき、微力ながら北海道理学療法士会発展の一役を担って来られたのは、これまで私に携ってくださった皆様のご指導の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

来年度末には定年を迎えますが、知力、体力が続く限り、北海道理学療法士会の発展に少しでも貢献出来るよう努力する所存でございます。今後ともご指南の程よろしくお願い申し上げます。

# 表彰 表彰者のご紹介



## 北海道理学療法士会歴代会長感謝状

太田 誠 日本医療大学



### 北海道理学療法士会 歴代会長感謝状を受賞して

日本医療大学 太田 誠

士会創立55周年記念表彰式の中で、北海道理学療法士会歴代会長感謝状を頂戴いたしました。柿澤会長をはじめ多くの歴代の役員の皆様、会員の皆様、また各種準備いただきました事務局の皆様にご心よりお礼申し上げます。

私は1984年4月から札幌市内の病院で理学療法士として働き始め、翌1985年に当時の福田修会長のご推薦をいただき、本会理事に就任させていただきました。以来18期36年間理事として、最後の12年間は第7代会長として士会活動に関わらせていただきました。振り返れば人生の半分以上の関わりに我ながら驚いています。在任中、大過なくその任を果たせましたのも、多くの皆様のご厚誼の賜物と改めて深謝申し上げます。

2020年から猛威を振るった新型コロナウイルスも感染症の位置付けが5類になりましたが、感染症に対する対応はとりつつ、地域共生社会の実現に向けて歩んでいきたいと考えておりますので、引き続きご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

## 日本理学療法士協会感謝状

増川 尚美 北海道病院付属介護老人保健施設



### 日本理学療法士協会感謝状を受賞して

北海道病院付属介護老人保健施設 増川 尚美

このたびは、人命救助の活動において感謝状を受賞させていただき、大変光栄であり、心より感謝申し上げます。

私は健康増進と職場の仲間との絆を深めるべく、リレーマラソンへ参加しています。走ることは好きではありませんが、仲間と協力して頑張るという会場全体の雰囲気が好きです。今回の人命救助は、周囲の人が協力し合い、一つの命を助けようとした結果であり、私はその中の一人にすぎません。結果、その方の命が助かり、社会復帰やスポーツを再開するまでになったと聞き、とてもうれしく思います。また、この受賞により多くの人に理学療法士の存在を知ってもらい、興味を持ってもらうことにつながることができたのならば、とてもうれしいことだと思います。

このような素晴らしいご縁に恥じないよう誇りをもって、これからも理学療法士として、人として成長していけるよう精進してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

# 高校部活動のトレーナーとして 活躍しているセラピスト

職域事業部の理学療法士の職域拡大に向けた啓発・提案事業では、先駆的に行っている分野等で活躍されている理学療法士へインタビューを行い、会員の皆様に紹介することで興味をもつ、あるいはすでに興味をもっている人が一歩を踏み出すきっかけを作ること、そして、今後その分野での理学療法士の未来・可能性が広がるように活動しています。

今回は育成年代における障害予防分野で活躍されている理学療法士、黒谷麟太郎さんをご紹介します。



加谷整形外科スポーツクリニック  
理学療法士

黒谷 麟太郎さん

## 目指したきっかけ

小学1年生から高校までサッカーをしていましたが、中学時代にはコンサドーレ札幌の下部組織に所属していました。そのとき、チームにトレーナーとして理学療法士の方がいたことで理学療法士という仕事を知りました。中学3年生で腰椎分離症、高校2年生の冬に足首の脱臼骨折を経験しましたが、高校3年生の春にはプレーすることができました。その際に担当していただいた理学療法士の方にとっても感謝し、また憧れも募り、理学療法士を目指しました。

## この領域に取り組む ことになった経緯

以前の勤務先で、札幌光星高校サッカー部の患者様を担当させていただく機会がありました。その当時の担当ドクターが、術後のフォローで部活の見学に行くように勧められたのがきっかけでした。元々自分が光星高校サッカー部の出身だったこともあり、当時の監督から正式に依頼さ

れ、以後トレーナーとして関わらせていただく事となりました。

## 実際の活動内容

週に一回、平日15時までで病院で働き、16時から19時まではスポーツ帯同として院長のご厚意により勤務扱いで現場に行かせていただいています。公式戦が土日にあるのでその際も勤務時間を変更して参加しています。

内容に関しては、怪我人の情報収集、リハビリが基本です。一度の帯同で治療する人数は最近では3~5人くらいで、複数名同時に治療をしていることもあります。怪我の内訳は様々であり、現場には医師がいないため正確な診断がでず、症状に対応した治療を行います。

治療内容は臨床時と大きく変わらないですが、痛みの原因を知ることが基本になると考えています。痛みの原因によって対応は変わってきますが、痛みや機能障害を徒手



療法などで改善を促し、復帰までどのくらいかかるかを予測し、本人に伝えます。また、復帰を早めるための課題として、ストレッチ、筋力トレーニング、動作トレーニングなども指導しています。一度の帯同で治療が足りない選手や医師の診断が必要な疾患の疑いがある場合には病院を受診していただく場合もあるので、その際は、ご本人とご家族に説明しています。

光星高校サッカー部員は80名から多い時で100名ぐらいの規模なので、現場で求められる内容は様々です。上記のような個人への対応とは別で、学年別、全体に対して身体のケア、筋力トレーニングの他にサッカーに必要な動作トレーニングなども指導しています。

その他には、メーカーさん共同での栄養指導、GPSデバイスを用いた心肺機能面の管理、試合中のスプリント回数などのデータの分析なども行っています。

## 活動中での課題

理学療法士として病院で働きながらスポーツの現場に参加するため、休日やプライベートの時間が減ってしまう場合があります。また、トレーナー活動においては無給の場合が多く、ボランティアで行っている方も多いと聞いています。そういった背景もあるためか、現在高校部活動において、理学療法士が参画しているケースは非常に少ない状況となっています。このような活動が社会的に正当な対価をいただくにはまだまだ時間や課題が多いと感じます。一方、アメリカなどの海外ではアマチュアでも監督、コーチ、トレーナーの方にも給与を支払うシステムがあり、指導側の人間も専門的な知識や資格を取得し、プロ意識を持って対応していることで成り立っているそうです。このことから日本の指導者も、今後さらなるスキルアップが重要になると予想しており、今後はトレーナー活動をしたい人への教育システムが必要になると考えています。

## この領域で 理学療法士として関わる 意義・やりがいなど

選手が強くなる、上手くなるのも大事ですが、スポーツを続けられる土台作りが育成年代では重要だと感じています。高校年代の選手は社会人に近づく年代でもあり、怪我を通じて、選手が肉体的にだけでなく、一人の人間として選手の成長を見られることはこの活動を続けていってとてもやりがいを感じます。

色々な取り組みをされていて思うのは、良い環境で良い練習をするのと同じぐらい人間力を高めることが選手にとってとても大事だということです。そのため日頃から自分自身の立ち振る舞い、声かけに注意をしています。また、目標にしていた全国大会出場が昨年のインターハイで叶ったことで、この活動に対する心境の変化も生まれました。上手く言葉では言えませんが、今までは選手、チームに与える立場にあると思っていたことも、実は自分の成長に繋がっていて、自分が与えられていたと気づくことが出来ました。

## 活動していて苦勞する点

多感な時期の年代と関わるため、信頼関係を築く事がとても重要だと感じています。そのため、コーチングや、精神面での

フォロー、時流に合わせた指導法など、悩むこともあります。もし選手、自分自身が楽しみながら活動できるかを意識するようにしています。

## 今後について

北海道の育成年代のサッカーが強くなるよう今後も活動していきたいと思っています。その後はプロサッカーチームのトレーナーになるという目標があるため、現在も精進を重ねています。

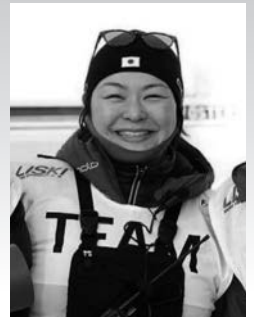
## 士会員へのメッセージ

この活動を通じて理学療法士、医療人、人として学ぶことが多くあり、日頃の臨床とスポーツ活動でのリハビリテーションが共に活着していると感じます。新人の頃から今の状況に到るまでにたくさんの方に指導していただき、少しずつですが自分の進みたい方向性がわかるようになってきました。もう少し自分のやっている活動を通じてこの協会に還元できる人間になりたいと思います。



# 第4回 北海道PTパラスポーツ Webミーティング

健康スポーツ局 障がい者スポーツ支援部  
安部 朋美



6月24日に第4回北海道PTパラスポーツWebミーティングが行われました。

今年度の障がい者スポーツ支援部は『MEET&CONNECT』を目標に掲げており、今回は2021東京パラリンピック(パラローイング)と2022北京パラリンピック(クロスカントリースキー)に視覚障がい選手として参加した理学療法士の有安諒平氏を講師としてお招きし【理学療法が拓く多様性の未来~これからのPTに求められること、夏冬2つのパラリンピックを経験して~】をテーマに、聴衆参加型の非常に有意義なWebミーティングとなりました。

参加者の関心が高かった視野狭窄について、有安氏が実際に見えている視野狭窄状態を図解で解りやすく解説した後に、実際に参加者がマリオットの盲点実験を行い、周囲の映像や記憶により情報(視野)が補足される事を体験しました。

また、スポーツにおける多様性がパラリンピックへの道を開いた話として「スポーツは、楽しみであり、身体を動かし健康効果を高めたり、何かを達成する体験ができる価値のあるものだが、ほとんどが健常者に合わせて作られているルールの為、ネガティブな足枷であったが、障がい者にも適応するルール(多様性)を作ったことによりスポーツを楽しめる当事者になれた。QOLが上がり、足枷からパラリンピックへのチケットに変わった」という話がとても印象深く残りました。後半では、有安氏のプライベート時の過ごし方からVO2max値まで幅広い質疑応答が行われ、大盛況の後に終了しました。

今後も障がい者スポーツ支援部は、理学療法士が障がい者スポーツの情報を持ち、障がいがある方をスポーツに繋げる橋渡し役をベースとし、スポーツを社会参加の一つのツールとして選択肢に活用することを促していきたいと考えております。スポーツ現場にて地域で専門的に運動指導ができる理学療法士を増やし、地域指導者と理学療法士が繋がり、障がいに合わせた運動指導を展開できる事を目指します。

全道障がい者スポーツ大会(陸上競技)や各種障がい者スポーツ大会で理学療法ブースを設置します。今まで関わったことのない方でも事前講義や、当日はコアメンバーの指導を受けながら活動が行えますのでお気軽にお申し込み下さい。

## ▶▶▶ 事務局からのお知らせ ◀◀◀

<b>1 異動・住所変更 改姓・転出入等</b>	○異動(休退会を含む)が生じ次第、速やかに協会マイページより、変更手続きをお願い致します。 ※マイページID、PW 紛失の場合は、日本理学療法士協会 TEL: 03-6804-1421 へ申請願います。 ○ご結婚等で改姓をされた際の免許の書き換えは、お住まいの地区の保健所又は保健センターでの手続きとなります。
<b>2 年会費納入 年会費領収書</b>	<b>【会費納入について】</b> ○年度開始前の3月末までに納入が無かった場合、4月より会員権利全面停止となり、6月末までに納入がなかった場合、 <b>会員資格喪失により退会となります。(退会の場合、生涯学習履歴は全て無効となり、復会しても履歴履歴は戻りません。)</b> 詳細は日本理学療法士協会HP→理学療法士の方向けトップページ→協会からのお知らせ→各種手続き→年会費をご確認ください。 ○納入手続きは、納入漏れや送金手数料が不要のクレジットカードを推奨致します。詳細については、日本理学療法士協会へお問い合わせ下さい。 (TEL:03-6804-1421 HP:https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/07/) <b>【年会費領収書について】</b> ○日本理学療法士協会マイページより領収書の取得ができます。 出力方法:マイページログイン→お支払い管理→お支払い履歴・領収書発行
<b>3 慶弔関連</b>	<b>●慶事:会員の結婚(ご披露宴に祝電をお届け致します。)</b> ①依頼者氏名・会員番号 ②本人氏名(女性会員の結婚の場合は旧姓)・本人会員番号 ③日時 ④会場・住所・TEL 上記4点を記載し、事務局までメールにてご連絡下さい。 <b>●弔事:会員本人、配偶者及び一親等までのご家族についてのご不幸(弔意を表します。)</b> ①依頼者氏名・会員番号 ③日時(お通夜・告別式) ②亡くなられた方の氏名 ④会場・住所・TEL 1:会員本人の場合 ⑤喪主氏名・続柄 ・会員氏名 ○○ ○○、会員番号 ○○○○○○○○ (亡くなられた方との続柄。妻・長男等) 2:会員の配偶者及び一親等までのご家族の場合 ⑥会員周知対応可否 ・亡くなられた方の氏名 ○○ ○○、続柄(実父・義母等) ・会員氏名 ○○ ○○、会員番号 ○○○○○○○○
<b>4 講習会申込</b>	事前WEB申込みとなっております。日本理学療法士協会マイページよりお申込み下さい。



## 公益社団法人北海道理学療法士会 求人募集広告申込要項

掲載料金	●A4 1ページ 白黒印刷：30,000円+税 ●A4 1/2ページ 白黒印刷：15,000円+税
掲載箇所	1.北海道理学療法士会 会報誌「Northerner」(発行部数2,100部) 2.公益社団法人北海道理学療法士会ホームページ(会員メニュー>求人広告)
発刊時期	2・6・9・11月 ※ホームページへの掲載は、通常2~3か月間となり、期間が過ぎた場合は自動的に削除させていただきますので、予めご了承ください。なお、掲載が不要となった場合は、ご連絡ください。
お申込み方法	本会ホームページの各種申請書ダウンロードより「求人広告申込要項」を取得して、記載例を参考に作成し、事務局までお申込ください。お申込を受信しましたら担当者より受領及び校正の連絡を致しますが、連絡が無い場合には事務局(TEL:011-213-0301)までお問い合わせください。なお、校正は原則1回とさせていただきます。 ※原則として、フォントはMSゴシック体とし、指定ロゴ・写真・画像の追加、お取り扱いは致しておりませんので、文字のみで作成をお願い致します。 ※本会の都合により掲載できない場合がありますので、予めご了承ください。
申込締切	<b>発刊前月の1日</b> 締切後は次号ご掲載となります。
お支払い方法	掲載された会報誌とともに、ご請求書を同封致します。 お手元に届き次第、お支払いいただきたくお願い申し上げます。
お申込み・お問い合わせ先	公益社団法人北海道理学療法士会 事務局 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目1 カミヤマビル4階 TEL:011-213-0301 FAX:011-213-0302 E-mail:office@pt-hokkaido.jp

# 2023理学療法週間事業報告

## 日胆支部

### 子供～高齢者までロコモ度テスト実施 大盛況でした

日胆支部 社会部部員  
佐藤 武義



COVID-19の5類移行から、各地でお祭りや催しなど賑わいが戻ってきました。私達、日胆支部伊達地区も7月2日に市民活動センターにてボランティア連絡会・社会福祉協議会が主催する「ふれあい広場だて」に4年ぶりに参加し、理学療法のPR活動を行ってきました。出展では、



移動機能をみるロコモ度テストの実施や福祉用具体験を行いました。

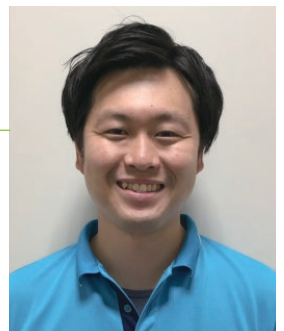
また、健康相談窓口を設け、19歳以下の方には最近増えている子どもロコモに焦点を当て対応しました。社会部員として今年度から企画を任せられ少し不安もありましたが、当日は来客も多く盛況で、笑顔もたくさん確認でき、職場の違う地区理学療法士メンバーとも席の暖まる暇もなく気持ちの良い協働ができたので、まずは一安心でした。

来年の機会も、専門性を背景におもてなしの心を大事にして、参加者と私達が互いに楽しめる居心地の良い場づくりに力を入れ、理学療法士の認知度向上に少しでも繋げたいと考えております。最後に、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

## 石狩支部

### 高校生理学療法体験を実施して

石狩支部 社会部長  
澤野 純平



石狩支部社会部では毎年7月中旬から8月下旬まで、石狩管内の高等学校(13校)を対象に、進路指導の一助として「高校生理学療法体験」を実施しております。昨年度までは新型コロナウイルスの影響によりオンラインにて現役理学療法士との座談会を実施していましたが、新型コロナウイルスの5類への移行を機に、今年度より対面での実施を再開しました。



本事業では、理学療法士を目指すきっかけになること、なりたいという気持ちが強まることを目的として、実際の理学療法場面の見学、患者様とのコミュニケーション、運動療法、車椅子乗車や血圧測定などの体験をしてもらいました。

実施後のアンケートでは、「進路指導の決め手になった」、「実際に働くイメージが持てた」、「理学療法士になりたいという気持ちが強くなった」などの声をいただいております。また、理学療法士側も高校生と関わることで初心に戻り、臨床のモチベーションUPに繋がる事業であると感じています。

石狩支部社会部では、他に地域健康イベントなどへの参加もしており、今後も地域への啓蒙・啓発活動を継続して参ります。

5分でわかる!

理学療法士に知ってほしい

# NEWS



社会・医療情勢の中で、理学療法(士)に関する内容を  
中心にピックアップしてみなさまにご紹介します。

職能局職域事業部

情報提供キャラクター



ベテラン上司“Nao”



後輩“Aya”

## 【次期介護報酬改定】 通所リハビリテーションの論点

### 通所リハビリテーションの現状と課題

#### <現状と課題>

- 通所リハビリテーションは、居宅要介護者に対し、介護老人保健施設、病院、診療所、介護医療院において、自立した日常生活を営むことができるよう、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うことにより、利用者の心身機能の維持回復および生活機能の維持又は向上を目指すものである。
- 請求事業所数は近年横ばいであり、事業所規模別にみると、通常規模事業所が約84%、大規模(Ⅰ)、大規模(Ⅱ)事業所は、それぞれ約8%となっている。
- 令和4年の受給者数は約58万人で、近年減少傾向であり、利用者の要介護度は、要支援者が29.6%、要介護者が70.4%となっている。
- 収支差率は令和2年が1.6%、令和3年が0.5%と推移している。
- 令和3年度の介護報酬改定では、主に以下を実施したところである。
  - ①自立支援・重度化防止の取組の推進として
    - ・リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の取組の一体的な推進
    - ・リハビリテーションマネジメント加算の見直し
    - ・社会参加支援加算の見直し(移行支援加算の創設)
    - ・生活行為向上リハビリテーション実施加算の見直し
    - ・リハビリテーション計画書と個別機能訓練計画書の書式の見直し
    - ・入浴介助加算の見直し
  - ②制度の安定性・持続可能性の確保として
    - ・長期期間利用の介護予防リハビリテーションの適正化
- 退院後から訪問・通所リハビリテーションを利用開始するまでの期間が短いほど、機能回復は大きい傾向が見られている一方で、退院後の通所リハビリテーションの利用開始まで2週間以上かかっている利用者が一定数いる。また、約半数の利用者について、医療機関で作成したリハビリテーション実施計画書を、退院後に利用するリハビリテーション事業所が入手していないとの報告もある。
- 現行の通所リハビリテーションの報酬体系は「規模別」「時間区分別」を基本とし、個別の加算においてリハビリテーションの機能が評価されている。令和3年度審議報告の今後の課題では、通所リハビリテーションにおけるストラクチャー、プロセス、アウトカム評価を組み合わせた総合的な評価方法について検討していくべきとされている。
- なお、事業所の規模別の比較では、大規模事業所は各リハビリテーション専門職の配置が多く、リハビリテーションマネジメント加算の算定率が高い一方、地域との交流活動の実施に関しては通常規模の事業所と大きく変わりがないとの報告がある。
- 介護予防リハビリテーションにおける事業所評価加算の算定率は9.8%と低く、算定が主な困難な理由として「要介護認定の期間が長く、改善の結果が得られにくい」という点が挙げられている。
- リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に関わる実施計画書(一体的計画書)の活用率は27.2%と低く、リハビリテーション・口腔・栄養の一体的取組を更に推進していく必要がある。
- 令和3年度改定において、近年の受給者数や利用期間及び利用者のADL等を踏まえ、適切なサービス提供とする観点から、介護予防リハビリテーションにおける12月減算が新設されたが、減算が適用される利用者の割合は64%となっている。
- 令和4年の地方分権改革に関する提案募集において、指定基準における医師の必置や開設場所等の指定基準の制限を撤廃する基準緩和が提案されている。



Ayaさん、先日行われた介護給付費分科会の会議資料が公開されましたよ。

Naoさん、そもそも介護給付費分科会とは何でしたっけ??



介護報酬改定内容について議論する諮問機関です。有識者や各業界団体の代表などが意見を交わしあう場となっています。今回の分科会では、介護報酬改定における通所リハビリテーションの論点が発表されました。



そうだったんですね。具体的にはどんな内容ですか?



詳細は左の図の通りとなっています。通所リハに関わる部分だけでも沢山の事が議論されています。また、生活期のリハビリテーションにおいて、効果判定をどのように行っていくかなどが論点となっていますね。加えて、今回は医療と介護の同時報酬改定となるため、保険の移行期に関わる部分についても意見が上がっていますよ。



確かに、生活期においてもアウトカムを重視していくという事は自然な流れのように思います。Naoさん、来年度は医療、介護に加え、障害者総合支援法における報酬改定も予定されていますよ! 2024年は医療・福祉にとって大きな改定の年になりそうですね。今後も動向を追っていきましょう!

### 通所リハビリテーションの論点

#### <論点>

- 医療機関からの退院時に医療保険から介護保険に移行する際も含め、必要な方に対して早期に、適切な期間リハビリテーションを提供するために、どのような方策が考えられるか。
- 生活期におけるリハビリテーションのアウトカムについてどのように考えるか。また、ストラクチャー、プロセス、アウトカム評価を組み合わせた総合的な評価について、どのように考えられるか。
- リハビリテーション・口腔・栄養の一体的取組をさらに推進するため、どのような方策が考えられるか。

第219 回社会保障審議会介護給付費分科会資料より抜粋

ニュースの内容を詳しく知りたい方は、  
右のQRコードを読み取って下さい。



ニュースに関するご意見・ご感想がありましたら、  
hpta.shokuikijigyoubu@gmail.com までお願いいたします。  
今後のニュース作成の参考とさせていただきます。

## 正賛助会員

キーウェア北海道株式会社  
学校法人淳心学園 北海道千歳リハビリテーション大学  
学校法人都築教育学園 札幌医療リハビリ専門学校  
学校法人鶴岡学園 北海道文教大学  
学校法人西野学園  
学校法人日本医療大学  
学校法人東日本学園 北海道医療大学  
学校法人北海道科学大学 北海道科学大学  
学校法人吉田学園 専門学校北海道リハビリテーション大学校  
公益社団法人函館市医師会 函館市医師会看護・リハビリテーション学院  
アビリティーズ・ケアネット株式会社 札幌営業所

## 副賛助会員

一般社団法人 北海道言語聴覚士会  
公益社団法人 北海道作業療法士会  
株式会社竹山  
株式会社特殊衣料  
矢崎化工株式会社 北海道支店  
特定非営利法人HPT

## 協賛企業

オージー技研株式会社 札幌営業所  
酒井医療株式会社 札幌営業所  
株式会社日本メディックス 札幌営業所  
ミナト医科学株式会社 札幌営業所  
株式会社ムトウ

## Northerner 原稿締切

- ◎No.237(11月発刊)2023年10月1日(日)締切
- ◎No.238(2月発刊)2024年1月1日(月)締切
- ◎No.239(6月発刊)2024年5月1日(水)締切

締切後にご提出いただいた原稿は、原則次号以降のご掲載となります。  
予めご了承ください。

## 原稿募集のお知らせ

皆様からの原稿を募集しております。  
全道の会員へ報告したいこと、伝えたいことがありましたら  
是非、下記アドレスまでご連絡ください。

原稿送付先：広報部 ([kouhou@pt-hokkaido.jp](mailto:kouhou@pt-hokkaido.jp))

なお、求人広告原稿につきましては、事務局までご連絡願います。

求人広告原稿問合せ先：事務局 ([office@pt-hokkaido.jp](mailto:office@pt-hokkaido.jp))

Instagram  
はじめました



会員の皆様に役立つ情報をお届けいたします。  
フォローよろしくお願いたします。

Northerner No.236  
2023年9月1日発刊

発行／公益社団法人北海道理学療法士会

発行人／柿澤 雅史

編集人／橋本 晃広

印刷／幡本印刷株式会社

事務局／〒060-0003

札幌市中央区北3条西2丁目1

カミヤマビル4階

TEL:011-213-0301

FAX:011-213-0302

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。